

## 今シーズン最後の作業 ハサンベツ里山作業日

**第**7回ハサンベツ里山作業日が11月8日、ハサンベツ里山センターで行われ、町民や北海道介護福祉学校の生徒が参加しました。参加者は河川整備のほか、枯れ葉や伐採した木材などの撤去を実施。また、土砂や石を火薬庫の沢まで運び、川のそばの石組みを行いました。令和2年度のハサンベツ里山作業は今回で終了し、令和3年度第1回目の作業日は5月に実施予定です。



## 夕張川で化石を発見 継立小学校児童が自然体験学習

**継**立小学校の5・6年生14人が11月5日、土地のつくりと川の流れについて学ぶ、自然体験学習を行いました。子どもたちは開拓記念館や川端ダムなどを見学したほか、町内をバスで一周しながら川や地層の様子を観察し、NPO法人雨煙別学校の高橋慎理事から説明を受けました。また、夕張川の河川敷で同職員と貝の化石を探し、巻貝の仲間と思われる化石を発掘しました。



## 今シーズンの成果を報告 栗山ロッキーズが教育長を訪問

**少**年野球チーム「栗山ロッキーズ」が、11月16日、南條宏教育長を訪問し、今年度の活動を報告しました。栗山ロッキーズは、10月11日に栗山町民球場で開催された「第9回北海道スーパートーナメント」で準優勝したほか、9月26、27日に滝川少年野球場で行われた「第2回プレス空知杯争奪空知3、4年交流野球大会」で優勝するなど、輝かしい成績を収めています。



## 絵本通じてトラック運送に興味を 札幌トラック協会が絵本を寄贈

一般社団法人札幌トラック協会が町内の施設に絵本を寄贈し、11月14日、同協会の工藤英人支部長と藤本光春事務局長が南條宏教育長に手渡しました。同協会の絵本寄贈は今年で6回目。寄贈されたのは絵本作家そらさん作で、クマのトラック運転手ランディーのシリーズ「ランディーとトラックたんてい」。絵本は福祉施設、小学校、図書館など全13施設に寄贈されます。



## さっぽろ地下街オーロラタウンで開催 栗山町物産展

**さ**っぽろ地下街オーロラタウンで10月31日から11月4日まで「栗山町物産展」が行われました。栗山町特産品推進協議会が中心となり毎年出店しているもので、今年は、つくしんぼう（水上農園）の栗のパウンドケーキ、土門農園のトマトジュース、岩崎農場のルバーブジャム、栗山町さらさらレッド生産組合の玉ねぎなど、栗山町の魅力あふれる特産品を販売しました。



## 良酒醸造と安全を祈願 小林酒造で祈醸祭

**小**林酒造株式会社で11月4日、蔵人の安全とおいしい酒の完成を祈願する、祈醸祭が行われました。空知管内の9つの神社から宮司が参列し、沼田神社の鎌田真滋宮司など、3人の宮司が代表して神事を執り行いました。祈醸祭には、小林米三郎社長をはじめ関係職員10人が参列し、酒造りの成功と安全を祈願しました。



## 散歩と清掃活動を楽しむ クリーンウォーキング

**栗**山町老人クラブ連合会が主催する街中美化散歩「クリーンウォーキング」が10月26日に行われ、同会員58人が参加しました。会員同士の交流を深めるとともに、運動不足の解消や清掃活動による社会貢献を目的に実施。参加者は2班に分かれ、カルチャープラザ「Eki」から、栗山天満宮、栗山公園の前などを歩き、歩道に落ちているごみを拾いました。



## アイヌの伝統文化に触れる 栗山小学校でアイヌ学習

**栗**山小学校の4年生が11月6日、アイヌ民族の伝統文化を学ぶ「アイヌ学習」を行いました。NPO法人雨煙別学校の高橋慎理事が、栗山とアイヌの関わりなどについて講演した後、アイヌ協会講師でもある「フンペシスターズ」のメンバー2人が、アイヌの楽器「ムックリ」を演奏し、アイヌの歌を披露。最後は子どもたちも輪になって、アイヌの歌と踊りを体験しました。

